

黒澤明が、最後に撮りたかったのはラブ・ストーリーだった。

遊女の恋は、惚れちゃいけない。

熊井啓 監督作品

海は見ていた

THE SEA WATCHES

kei kumai x akira kurosawa

熊井啓 × 黒澤明 × 山本周五郎

清水美砂 遠野凪子 永瀬正敏 吉岡秀隆

つみき みほ 河合美智子 野川由美子

石橋蓮司 奥田瑛二

製作総指揮:中村雅哉 企画:黒澤久雄 プロデューサー:猿川直人
原作:山本周五郎「なんの花か薫る」「つゆのひぬま」(新潮社刊)より 脚本:黒澤明 監督:熊井啓

制作:豊忠雄/遠藤雅也 撮影:奥原一男 照明:矢部一男 美術:木村威夫 音楽:松村禎三
編集:井上治 録音:小川武 衣裳:黒澤和子 音楽補:山本純ノ介 監督補:鈴木康敬

製作:「海は見ていた」製作委員会

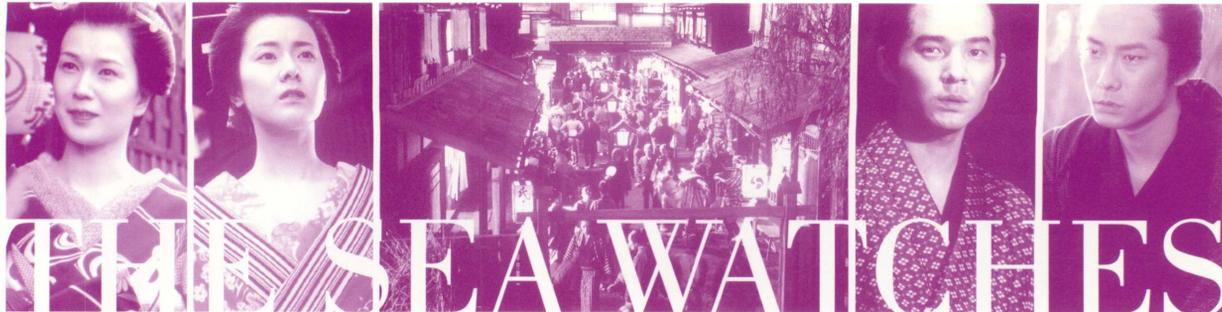
日活株式会社/株式会社ソニー・ビクターエンタテインメント/株式会社テレビ東京/株式会社インタービジョン/サミー株式会社
株式会社マル/ソニーPCL株式会社/ソニー・シネマチック株式会社/エー・アイ・アイ株式会社/日本ロードサービス株式会社

製作協力:株式会社黒澤プロダクション 配給:ソニー・ビクターエンタテインメント/日活

日活創立90周年記念作品

<http://www.umiwamiteita.com/>

©2002 海は見ていた 製作委員会



世界のクロサワ、 幻の作品が今、蘇る!

生涯30作を監督し、米アカデミー賞協会から名誉賞を授与された伝説の映画監督、黒澤明には、幻の作品があった。実は、31作目の監督作品の脚本を完成させ、撮影寸前まで準備を進めていながら、製作費等の問題で断念せざるを得なかったのだ。その幻の作品が、本作『海は見ていた』となって、今ここに蘇る。

黒澤監督、 最初で最後のラブ・ストーリー

原作は、山本周五郎の「なんの花か薫る」と「つゆのひぬま」。脚本を読んだ関係者は皆いっせいに驚いた。なんと、黒澤監督初のラブ・ストーリーなのだ。「時は江戸、場所は深川、生粋の江戸っ子たちの本場」だから、「先ず、粋に行きましょう」とその意気込みを語っていた黒澤監督。そこには江戸に生きる女の切なくも激しい恋が描かれていた。

巨匠から巨匠へと託された 時代を超える“魂の希望”の物語

黒澤監督と生前、親交が深かった『忍ぶ川』『サンダカン八番娼館・望郷』の熊井啓監督が、黒澤監督の万感の想いを引き継いで映画化を決意した。熊井監督は、「“いき”とは、権力に反発する市民意識の表れ、いわゆる庶民のダンディズムと解釈するならば、私が映画化しても黒澤氏の描こうとしたテーマに通じるに違いない」と語っている。

「客に惚れてはいけない」 けれど、恋することは生きること

粋な江戸っ子が住む深川の少しはずれにある岡場所(幕府非公認の私娼地)“葦の屋”。そこで働くまだ年若いお新は、おかみさんや姐さん分の菊乃から「客に惚れちゃいけない」と事あるごとに教えられていた。にもかかわらず、お新は恋をしてしまう。女たちのさまざまな想いが交錯する深川に、ある日突然、稲妻が光り、雷鳴と共に嵐がやって来た……。

日本から全世界へ向けて贈る、 映画史に残る傑作の誕生

菊乃を演じるのは『うなぎ』の演技派女優、清水美砂。お新には『日本の黒い夏—冤罪—』の初々しさが印象的な遠野風子。また、21世紀の日本映画界を支える俳優、永瀬正敏、確かな演技力の吉岡秀隆らが出演。スタッフも、美術の木村威夫、音楽の松村禎三、撮影の奥原一男、衣裳の黒澤和子など、一流の面々が顔を揃えた。既に全世界での公開が予定されている、映画史に残る新たな傑作の誕生だ。



海は見ていた



原作:山本周五郎「なんの花か薫る」「つゆのひぬま」(新潮社刊)より 脚本:黒澤 明 監督:熊井 啓 製作:「海は見ていた」製作委員会
配給:ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント/日活 出演:清水美砂/遠野風子/永瀬正敏/吉岡秀隆/石橋蓮司/奥田瑛二

©2002「海は見ていた」製作委員会

6月ロードショー!!
特別ご鑑賞券発売中! ●一般券1,300円

東西池袋東急109シアター1F 最前席完売 定員入替制 03 (5683) 109シネマズ木場 0109
中央ロサンロード街面友光生製パンクスタウン2F 0422 (22) 吉祥寺パウスシアター-3 6631

渋谷東急文化会館5F 03 (3407) 7219

池袋東急文化会館5F 03 (948) 5151 109シネマズ港北

歌舞伎町シネシティTOKYU MILANOビルB1F 03 (3202) 1189

小田急・本厚木ミロード2・7F 駐車場完備 046 (230) 7143 厚木シネマミロード

池袋東口・サンシャイン60階通り 03 (3982) 6101

千歳三軒そば・タカラヤ裏 駐車場有り 定員入替制 043 (202) 0088 シネマックス千葉

京成上野駅・池ノ端口前 03 (3831) 6620

高崎駅東口・徒歩5分 駐車場完備 定員入替制 027 (325) 0109 109シネマズ高崎